

なるほどの♪



学校教育担当  
キャラクター  
甲斐善之助

# 西部教育局からのお役立ち情報

## 今月のトピック紹介版

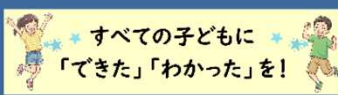
5月号



『学びを見取る・支える授業づくり』  
～つまずきを生かした指導の工夫～

特別の教科 道徳  
指導案作成のポイント

「『幼児教育』は何のため？」  
～円滑な幼保小連携・接続をめざして～



# 学びを見取る・支える授業づくり ～つまずきを生かした指導の工夫～

西部教育局 お役立ち情報  
令和8年5月号



令和8年2月鳥取県教育委員会作成の「学びの改革推進プラン」では、令和8年度の重点として、教師の見取りと支援を重視した、指導と評価の一体化の徹底及び基礎学力の定着を挙げています。児童生徒が学習内容を実実に習得するためには、教師の「見取り」の質を高め、それに基づいた適切な「支援」を行うことが不可欠です。

## 1 【事前の準備】つまずきの予測を「授業のデザイン」に組み込む

〔考え方〕児童の既習事項の定着状況等を考慮し、つまずきやすい箇所を予想した上で、具体的な支援の手立てを授業展開の中に盛り込んでおくことが重要。

〔事前の想定〕子どもの反応やつまずき（誤答、多様な考え方、思考の停滞する場面等）を想定する。

〔支援の準備〕想定したつまずきに対し、どのタイミングでどのような支援を行うか決めておく。



授業は事前の構想で質が大きく変わります。「事前の想定・準備」が大切です。

## 2 【学習状況の把握】見取りは事実に基づいて捉える

〔考え方〕児童生徒が学習の過程で実際に示した姿（活動の様子やノート等の記述内容、問題解決の様子等）から収集して判断することが重要で、評価規準を踏まえ指導の補完や修正につなげる。

〔具体例〕手が止まっている、同じ間違いを繰り返している、発言が変化している等に注目する。



適切な見取りによって、個に応じた支援が可能になります。

## 3 【支援の工夫】児童生徒が自ら解決に向かうよう促す

〔考え方〕児童生徒一人一人の特性や学習進度、学習到達度等に応じ、教師が、指導方法、教材や学習時間等の柔軟な提供・設定等を行うことが大切。

〔具体例〕「前に学習した内容を使えないかな？」と問い、既習内容をふり返らせる。図や例等を示す。



教え込むのではなく、児童生徒の学びを支える関わりを心がけましょう。

## 4 【振り返り】児童生徒が自らの学びを自覚できるように設定する


〔考え方〕児童生徒自身が「何ができるようになったのか（わかったか）」を自覚することが重要。

〔具体例〕「何ができるようになったのか」「今後に生かせそうなこと」等を書く。



振り返りを次の学びをつくる材料にしましょう。

参考：子どもが伸びる授業づくりプロジェクト（小学校算数）の実践から  
（米子市立五千石小学校 第5学年学習指導案より）

<p>〈自力解決〉 3. 見通しをもとに、異分母分数のたし算について考える。</p>	<p>○ まずはたし算計算と説明が確認できているか確かめてみる。</p> <p> <b>B・Cの児童の様相とその手立てが具体的に示されています。</b></p>
<p>C: <math>\frac{1}{2} + \frac{1}{3} = \frac{2}{5}</math>と、通分せずに分母と分子をそのままたしてしまう。</p>	<p>☆ 見通しと照らし合わせ、<math>\frac{2}{5}</math>では明らかに少なすぎるということに気づかせる。</p>
<p>C: <math>\frac{1}{2} + \frac{1}{3} = \frac{1}{6} + \frac{1}{6}</math>と、分母のみ最小公倍数にして、分子がそのままになってしまう。</p>	<p>☆ 前時までの通分の仕方を確認したり、<math>\frac{1}{2}</math>や<math>\frac{1}{3}</math>と同じ大きさの分数は何か、前時までの数直線を用いて確認したりするよう声をかける。</p>
<p>C: 通分をするとどんな数になるのかわからない。</p>	<p>☆ <math>\frac{5}{6}</math>Lは何が5つ分なのか考えてみるよう促す。</p>
<p>C: <math>\frac{1}{2} + \frac{1}{3} = \frac{3}{6} + \frac{2}{6} = \frac{5}{6}</math>と、通分をして計算はできるが、なぜそうするのか説明できない。</p>	<p>☆ なぜ<math>\frac{1}{2} + \frac{1}{3} = \frac{2}{5}</math>ではいけないのか考えるよう問いかける。</p>
<p>B: <math>\frac{1}{2} + \frac{1}{3} = \frac{3}{6} + \frac{2}{6} = \frac{5}{6}</math> <math>\frac{1}{6}</math>が(3+2)個だから <math>\frac{5}{6}</math> L</p>	<p>☆ <math>\frac{3}{6} + \frac{2}{6}</math>は液量図ではどのように表せるか考えるよう声をかける。</p>
<p>A: <math>\frac{1}{2} + \frac{1}{3} = \frac{3}{6} + \frac{2}{6} = \frac{5}{6}</math> L</p>	

以下のお役立ち情報もぜひご覧ください。



「効果的な机間指導」(令和2年6月) 「効果的な机間指導②」(令和2年12月) 「学ぶべきことを焦点化」(令和5年1月)



【参考】  
「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料  
(国立教育政策研究所)



道徳科の学習指導案は、教師が年間指導計画に位置付けられた主題を指導するに当たって、児童生徒や学級の実態に即して、教師自身の創意工夫を生かして作成する指導計画です。ねらいを達成するために、道徳科の特質を生かして、何を、どのような順序、方法で指導し、評価し、さらに主題に関連する本時以外の指導にどのように生かすのかなどの構想を表現しましょう。



第2学年1組 道徳科学習指導案(例)

令和〇年〇月〇日(〇)〇校時  
指導者 〇〇 〇〇

- 1 主題名 みんなでつかうものだから(C-12 規則の尊重)
- 2 教材名 黄色いベンチ (出典:「きみがいちばんひかるとき」光村図書)
- 3 主題設定の理由






- (1) ねらいとする価値について ねらいとする内容項目の意義等を、学習指導要領を基に記述しましょう。
- (2) 児童〔生徒〕の実態について 内容項目に照らし合わせた児童生徒の実態(長所及び課題)や期待する児童生徒の姿、今までの同じ内容項目や他教科での指導との関連等を記述しましょう。
- (3) 指導・教材について 資料の概要や取り上げた意図、児童生徒の実態を踏まえた指導の具体的な方策等を記述しましょう。

4 ねらい

.....を通して、.....しようとする.....を育てる。  
 [教材を活用し、どのような学習活動を行うかを簡潔に]      [内容項目を基に、ねらいとする道徳的価値について]      [育みたい道徳性の諸様相] 道徳的心情、判断力、実践意欲と態度

5 学習指導過程

※学習指導過程は、導入・展開・終末の段階を設定することが広く行われています。これを基本形としながら、固定化、形式化することなく弾力的に扱う等の工夫をしていくことも大切です。

	学習活動〔主な発問(○)と予想される児童の反応(・)〕	指導上の留意点(・)
導入	1 事前アンケートをもとに、みんなで使うものについて振り返る。 ○ 主題に対する児童生徒の興味や関心を高め、ねらいの根底にある道徳的価値の自覚に向けて <u>動機付け(方向付け)</u> を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 児童生徒が問題意識をもって学習に臨むための準備をします。</li> </ul>
展開	2 教材「黄色いベンチ」を読んで話し合う。 ○ ○ <b>◎ 中心発問</b> ○ <span style="background-color: #e0f0ff; padding: 2px;">中心的な教材によって、児童生徒の一人一人が<u>ねらいとする道徳的価値について自覚が深められるように</u>します。</span> ○ ○ ○ ねらいとする道徳的価値について考える。 ○ <span style="background-color: #e0f0ff; padding: 2px;">教材をもとに話し合ったことを、自分自身のこととして問い直します。</span>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <span style="background-color: #e0f0ff; padding: 2px;"><u>発問を精選し、児童生徒が多様な感じ方や考え方を出し合い、学び合う</u>ことができるようにします。</span></li> <li>・ 道徳科に生かす<u>指導方法には多様なもの</u>があります。児童〔生徒〕の発達段階などを捉え、指導方法を吟味します。</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">   <small>(小) P84~86</small> </div> <div style="text-align: center;"> <small>参照:『学習指導要領解説 特別の教科 道徳編』 指導方法の工夫例</small> </div> <div style="text-align: center;">   <small>(中) P83~85</small> </div> </div>
終末	4 自分を見つめる。 ○ <span style="background-color: #e0f0ff; padding: 2px;">ねらいの根底にある道徳的価値に対する思いや考えをまとめ、今後につなぎます。</span>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <span style="background-color: #e0f0ff; padding: 2px;">参照:西部教育局お役立ち情報『特別の教科 道徳の授業づくり「振り返り」から授業を構想する』</span></li> </ul> <div style="text-align: right;">  </div>

6 評価の視点

- ☆ .....一面的な見方から多面的・多角的な見方へと発展させているかどうか見取ります。
- ☆ .....道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深めているかどうか見取ります。



小学校の教員として、幼保小連携・接続のために何を知らなければならないの？

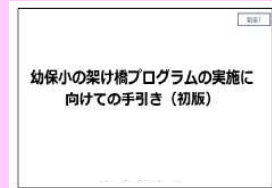


幼児期は「遊び」を通して、学びの土台となる資質・能力を身に付ける時期です。小学校等においては、学びをゼロからスタートするのではなく、幼児期に身に付けた資質・能力を生かし、伸ばしながら教科等の学びにつないでいくことが大切です。子どもの育ちと学びをつなげていくために、小学校区ごとに「幼保小の架け橋プログラム」を進めていきましょう。



## 【幼保小の架け橋プログラム】とは

5歳から小1の2年間で「架け橋期」と位置づけ、すべての子どもに、**学びや生活の基盤**を保障するため、自治体のリーダーシップのもと、カリキュラム開発会議等、**体制を整え**、架け橋期にふさわしい**カリキュラムを作成・評価**することで、**教育の充実・改善**を目指す取組です。



詳しくは、文部科学省のホームページへ！  
幼保小の架け橋プログラム 検索

### 幼児期の大切な学びが分かる動画シリーズ



幼児教育は何のため？  
(約2分)



「遊び」は「学び」って  
どういうこと？  
(約7分)



幼児期は、「遊び」の中で周囲のヒト・モノ・コトに自ら進んで関わりながら、豊かで多様な体験を通して、様々な「学びの芽」を育てていく時期です。

◎園との交流の前に、こちらの動画を視聴してみましょう。



出典：YouTube文部科学省/mextchannel「幼児期の大切な学びが分かる動画シリーズ」

## 「幼稚園教諭・保育教諭・保育士・小学校教諭等の合同研修会」を開催します。

### 第1回 6月18日(木) 会場 米子コンベンションセンター

講師：鳥取県教育委員会事務局 特別支援教育課 参事監 加藤 典子 氏

テーマ：特別支援教育 対象者：管理職・特別支援教育担当者等

講義・演習：「(仮)子どもの育ちを支える環境づくり」

### 第2回 7月10日(金) 会場 米子市文化ホール

講師：岐阜聖徳学園大学 教授 西川 正晃 氏

テーマ：幼保小接続 対象者：幼保小連携担当者・参加を希望する者

講義：「(仮)遊びから学習へつなぐ幼保小の架け橋プログラム—学びに向かう力を視点として—」

演習：「(仮)幼児期の学びを生かした生活科単元をデザインしよう」



詳細につきましては、4月20日付西部教育局通知でご確認ください。たくさんのご参加をお待ちしております。

参加申し込み  
Forms→

